

富小 PTA の改革（素案）

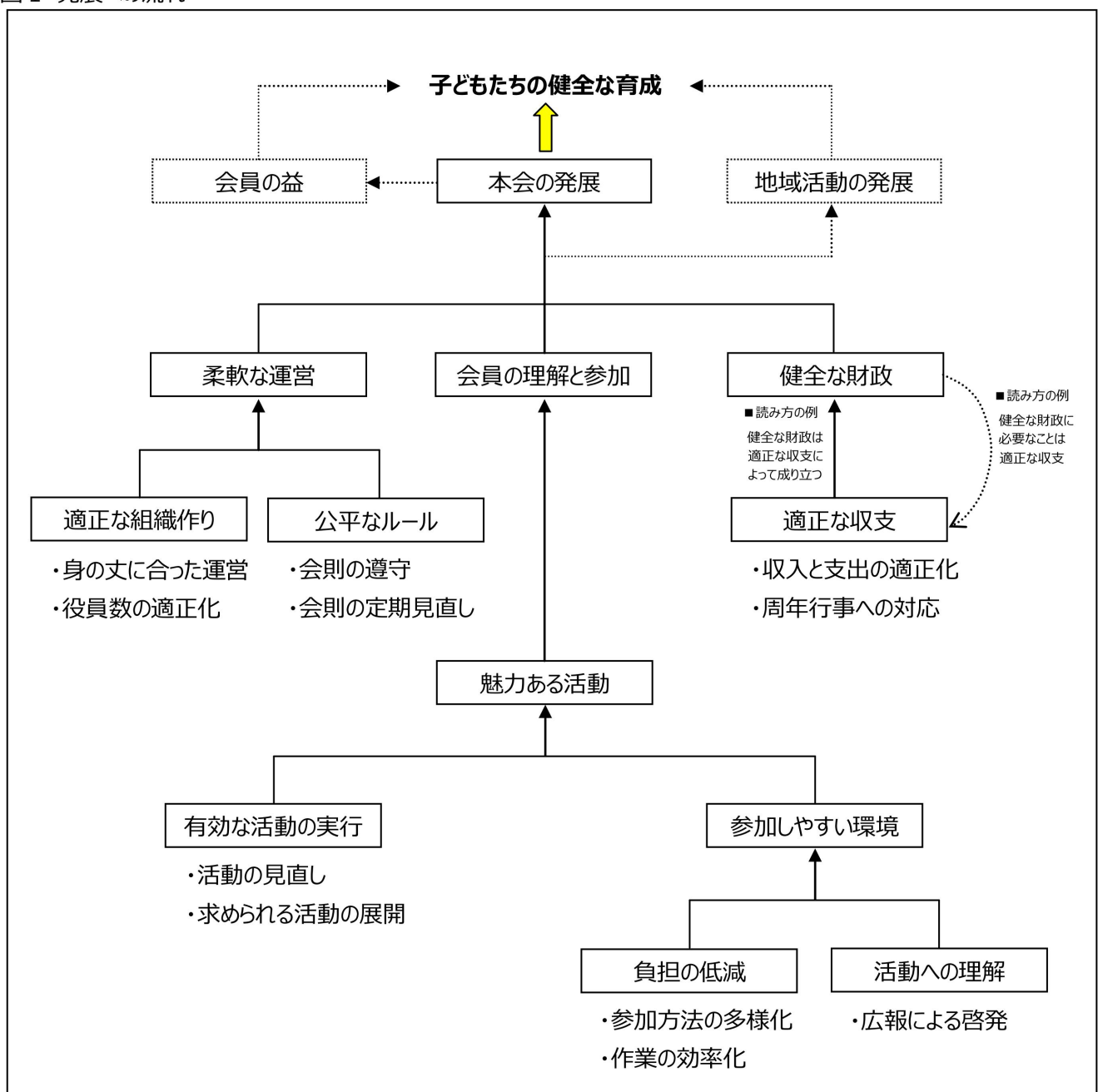
Ⅰ. 目的

現状調査によって抽出した課題改善の議論を進めるため、具体的な改革の素案を提案する。

Ⅱ. 改革素案

本会は、子どもたちの健全な育成のため、継続的な発展が必要である。発展への流れをロジックツリー（図 1）で表す。各□の上が目標で、下の□がそれに対する課題である。（図内の「読み方の例を参照」）
先に実施した現状調査の結果を踏まえ、具体的な実行案（素案）を次項にまとめた。

図 1 - 発展への流れ



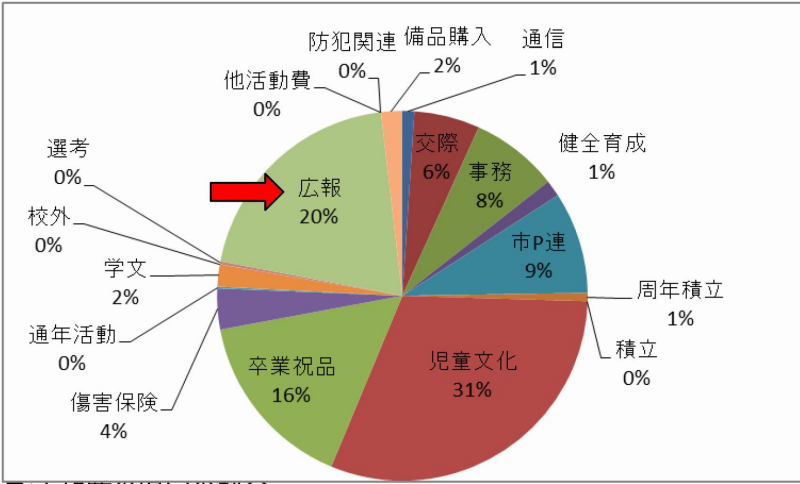
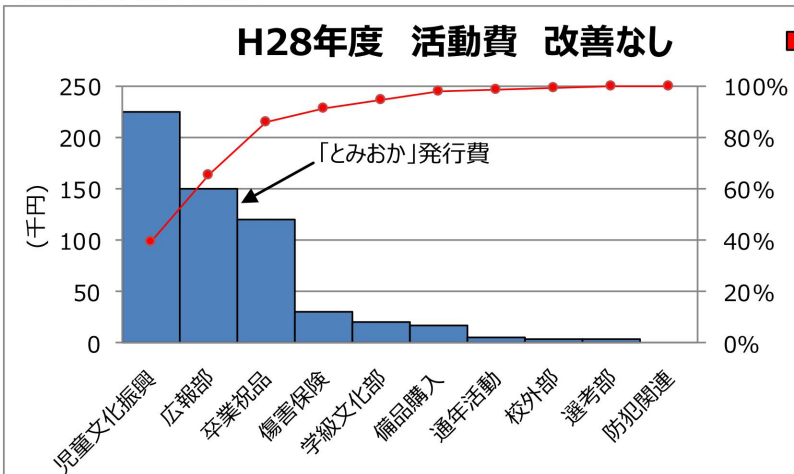
■改革 1

テーマ	活動目的の見直し																																																																																																			
目的	全活動の目的を明確にし、活動自体の有効性を見直すことで、活動範囲を本来の目的に合ったものとする																																																																																																			
実行案	STEP 1 目的を明確にする 7 月末 STEP 2 有効性を確認する 8 月末 STEP3 活動を見直す 9 月末 STEP4 結果を審議する 10 月初 全活動をリスト化し、目的、現状の活動状況を明記する ・7 月運営員会で活動を承認し、各運営委員がリストを 7 月末までに完成させる（目的が分からないなど、旧役員にも協力を依頼する） 目的が明確でないものや、本会の方針に合致していないものを抽出する 現在の活動状況と、活動の目的を比較し差異があるものを抽出する ・本部役員会が、リストを精査、8 月末までに不適合活動を抽出する 本来の目的に合った活動とする案を立案する ・本部役員会が、活動の廃止、統合、効率化を検討する * 役員選出に関係する場合は、9 月運営委員会に間に合うよう前倒す 10 月運営委員会で、本部提案を審議し来年度の活動計画とする ・結果を来年度の役員選考活動に反映させる（例：役員数変更）																																																																																																			
期待効果	魅力ある活動	方針に合致した目的を広報することで、会員が活動を理解することができる																																																																																																		
	参加しやすい環境	同上、会員が活動の趣旨や必要な技量が分かる																																																																																																		
	適正な組織作り	不要な活動を廃止した場合、そのために掛けていた役員数やその負担を削減できる																																																																																																		
補足	例）目的確認リスト <table><thead><tr><th></th><th></th><th>活動名</th><th>目的</th><th>現状</th><th>適否</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="5">本部役員</td><td>1</td><td>総会</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>2</td><td>運営員会</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3</td><td>本部役員会</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>4</td><td>議事録</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>5</td><td>運営委員会だより</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">共通</td><td>1</td><td>運動会手伝い</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>2</td><td>運動会 P T A 協議</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3</td><td>クリーン作戦</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">選考</td><td>1</td><td>新旧顔合わせ会</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>2</td><td>次年度選考</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">広報</td><td>1</td><td>広報紙「とみおか」</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">学文</td><td>1</td><td>学年活動</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>2</td><td>芸術鑑賞会</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3</td><td>学級会・委員会</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">校外</td><td>1</td><td>街頭指導</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>2</td><td>防犯支部長</td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>					活動名	目的	現状	適否	本部役員	1	総会				2	運営員会				3	本部役員会				4	議事録				5	運営委員会だより				共通	1	運動会手伝い				2	運動会 P T A 協議				3	クリーン作戦				選考	1	新旧顔合わせ会				2	次年度選考				広報	1	広報紙「とみおか」				2					学文	1	学年活動				2	芸術鑑賞会				3	学級会・委員会				校外	1	街頭指導				2	防犯支部長			
		活動名	目的	現状	適否																																																																																															
本部役員	1	総会																																																																																																		
	2	運営員会																																																																																																		
	3	本部役員会																																																																																																		
	4	議事録																																																																																																		
	5	運営委員会だより																																																																																																		
共通	1	運動会手伝い																																																																																																		
	2	運動会 P T A 協議																																																																																																		
	3	クリーン作戦																																																																																																		
選考	1	新旧顔合わせ会																																																																																																		
	2	次年度選考																																																																																																		
広報	1	広報紙「とみおか」																																																																																																		
	2																																																																																																			
学文	1	学年活動																																																																																																		
	2	芸術鑑賞会																																																																																																		
	3	学級会・委員会																																																																																																		
校外	1	街頭指導																																																																																																		
	2	防犯支部長																																																																																																		

■改革 2

テーマ	活動の手順化による負担低減																																																																														
目的	活動方法をチェックリストで確認し、統一された効率良い運営を実行する 年間計画、引き継ぎ、活動日・時間、PC・SNS の活用など活動手順の状況を調査し、不足を補う																																																																														
実行案	STEP 1 チェックリストを作成する 9 月末 アンケート結果、旧役員へのヒヤリングなどを参考に、チェックリストを作成する ・7 月運営委員会で活動を承認し、9 月までに本部役員がチェックリストを作成する STEP 2 状況を調査する 11 月末 各会が 11 月末までにチェックリストを用い調査する STEP3 不足資料を作成する 2 月末 旧役員にも協力を仰ぎ、不足資料の作成、システムの改善を行う ・各会が 2 月末までに作成する（統一したファイルで文書を作成する） STEP4 電子化する 3 月末 3 月末までに H P 内に役員専用のページを作り保存する （活動の紹介となる内容は HP で会員へ開示する）																																																																														
期待効果	参加しやすい環境	実際の活動方法が見える化することで、会員が活動に参加しやすくなる																																																																													
	負担の低減	負担が大きい活動を減らすことで、役員の負担が減る																																																																													
	適正な組織作り	同上、場合によっては、役員数の削減が可能となる																																																																													
補足	例）チェックリスト <table><thead><tr><th></th><th>チェック項目</th><th>選考部</th><th>●活動</th><th></th></tr></thead><tbody><tr><td>1.</td><td>計画</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>(1)</td><td>担当組織</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>組織全体のベースとなる年間活動計画はあるか</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>A. 組織が関係する全ての活動が含まれているか</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>B. 昨年度の実績など、最新版に更新されているか</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C. 数年おきに実施する活動を含めたものになっているか</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>D. 活動準備など、スタートのタイミングが分かる内容か</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>E. 補足や参照する資料を記載できる様式になっているか</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>個別活動</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>上記活動計画表とは別に個別の活動の計画表が必要か</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>A. 必要な場合、作成されているか</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>B. 作成している場合、最新版に更新されているか</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>2.</td><td>引き継ぎ資料（目的、配布書類の雛形、・・・）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3.</td><td>活動方法（連絡体制、日程、要員、手順、技能、・・・）</td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>					チェック項目	選考部	●活動		1.	計画				(1)	担当組織					組織全体のベースとなる年間活動計画はあるか					A. 組織が関係する全ての活動が含まれているか					B. 昨年度の実績など、最新版に更新されているか					C. 数年おきに実施する活動を含めたものになっているか					D. 活動準備など、スタートのタイミングが分かる内容か					E. 補足や参照する資料を記載できる様式になっているか				(2)	個別活動					上記活動計画表とは別に個別の活動の計画表が必要か					A. 必要な場合、作成されているか					B. 作成している場合、最新版に更新されているか				2.	引き継ぎ資料（目的、配布書類の雛形、・・・）				3.	活動方法（連絡体制、日程、要員、手順、技能、・・・）			
	チェック項目	選考部	●活動																																																																												
1.	計画																																																																														
(1)	担当組織																																																																														
	組織全体のベースとなる年間活動計画はあるか																																																																														
	A. 組織が関係する全ての活動が含まれているか																																																																														
	B. 昨年度の実績など、最新版に更新されているか																																																																														
	C. 数年おきに実施する活動を含めたものになっているか																																																																														
	D. 活動準備など、スタートのタイミングが分かる内容か																																																																														
	E. 補足や参照する資料を記載できる様式になっているか																																																																														
(2)	個別活動																																																																														
	上記活動計画表とは別に個別の活動の計画表が必要か																																																																														
	A. 必要な場合、作成されているか																																																																														
	B. 作成している場合、最新版に更新されているか																																																																														
2.	引き継ぎ資料（目的、配布書類の雛形、・・・）																																																																														
3.	活動方法（連絡体制、日程、要員、手順、技能、・・・）																																																																														

■改革 3

テーマ	広報活動の見直し（改革 1 の STEP 3 の後の活動）																																							
目的	「とみおか」を適正な広報活動に変更、組織編制を改革する																																							
実行案	STEP 1 「とみおか」を見直す 8 月末 7 月運営委員会で活動の承認を得て、広報部（会長・担当副会長含む）が「とみおか」の継続方法を検討し、9 月運営委員会で決定する 検討内容：紙面の企画、費用、発行方法、担当 STEP 2 広報活動を見直す 2 月末 今後「とみおか」以外に必要な広報活動、組織案を検討する ・ 2 月末までに、広報部（会長・担当副会長含む）が検討する STEP3 組織編制を見直す 3 月初 組織編制案を 3 月運営委員会で報告し承認を得る																																							
期待効果	魅力ある活動	広報活動の改善によって、会員が PTA 活動をより深く理解することができる																																						
	参加しやすい環境	活動の趣旨や予定が会員に伝わることによって、会員の選択肢が増加する																																						
	適正な収支	・「とみおか」に係る費用（140 千円/年）を削減できれば、収支バランスが改善する ・可能であれば値下げも視野に入れる																																						
	適正な組織作り	不要な活動を排除した場合、そのために掛けていた役員数やその負担を削減できる																																						
補足	■全支出に占める広報費の割合（20%）  ■活動費の項目の割合 H28年度 活動費 改善なし  ■支出費用全体 <table><tr><th>H27年度</th><th>費用(千円)</th></tr><tr><td>通信</td><td>7</td></tr><tr><td>交際</td><td>40</td></tr><tr><td>事務</td><td>53</td></tr><tr><td>健全育成</td><td>10</td></tr><tr><td>市P連</td><td>62</td></tr><tr><td>周年積立</td><td>5</td></tr><tr><td>積立</td><td>0</td></tr><tr><td>児童文化</td><td>215</td></tr><tr><td>卒業祝品</td><td>110</td></tr><tr><td>傷害保険</td><td>25</td></tr><tr><td>通年活動</td><td>1</td></tr><tr><td>学文</td><td>14</td></tr><tr><td>校外</td><td>0</td></tr><tr><td>選考</td><td>2</td></tr><tr><td>広報</td><td>141</td></tr><tr><td>他活動費</td><td>0</td></tr><tr><td>防犯関連</td><td>0</td></tr><tr><td>備品購入</td><td>13</td></tr></table> 水色：運営費 緑色：活動費		H27年度	費用(千円)	通信	7	交際	40	事務	53	健全育成	10	市P連	62	周年積立	5	積立	0	児童文化	215	卒業祝品	110	傷害保険	25	通年活動	1	学文	14	校外	0	選考	2	広報	141	他活動費	0	防犯関連	0	備品購入	13
H27年度	費用(千円)																																							
通信	7																																							
交際	40																																							
事務	53																																							
健全育成	10																																							
市P連	62																																							
周年積立	5																																							
積立	0																																							
児童文化	215																																							
卒業祝品	110																																							
傷害保険	25																																							
通年活動	1																																							
学文	14																																							
校外	0																																							
選考	2																																							
広報	141																																							
他活動費	0																																							
防犯関連	0																																							
備品購入	13																																							

■改革 4

テーマ	街頭指導活動の見直し（改革 1 の STEP 3 の後の活動）	
目的	少子化とされる富岡地区で、特別会員制度を活用し、富小を中心とした当活動への協力を地域住民に要請し活動のサポート体制を作る。また、当番計画など郊外部の運営方法を効率化する。	
実行案	STEP 1 現状を把握する 改善策を検討する 方針を決定する ↓ 9月初 STEP 2 改善方法を確立 ↓ 2月初 STEP3 説明会を行う ↓ 3月末 7 月運営委員会で活動の承認を得て次を実行し、9 月同委員会で報告し、活動方法の方針を決定する ・校外部は街頭指導状況を調査する（欠席者人数、会員の声） ・本部役員会は「新街頭指導制度の立ち上げ特別委員会」の結成、又は、地域団体への協力要請（民生委員？）を検討する 1 月末までに体制を整え、2 月運営委員会で活動内容を承認する ・特別委員会を立ち上げる場合、9 月末まで委員を募集し、10 月運営委員会で承認、10 月から 1 月末まで特別委員会が、ルール作り（組織名称、計画・連絡体制、禁止事項、保険）を実施する ・地域団体へ要請する場合、本部役員が交渉にあたり、1 月末までに体制を確立する ・加えて郊外部が廃止できないか検討する 3 月中に「特別会員」に対し校外指導説明会を行い、スタートする	
期待効果	魅力ある活動	子どもたちを見守る地域環境の活性化が期待できる
	参加しやすい環境	・サポート体制によって、会員の立哨を自由参加に変更、負担が低減する ・立哨者の不在頻度が減少し、事故の確率が大きく減少する
	適正な組織作り	・当番計画の立案が機械的にできるため個々の日程調整が不要となる ・郊外部役員による代理立哨がなくなり、部員の負担が大きく減少する ・郊外部は単一の組織として不要となり、役員数を減少することができる
補足		

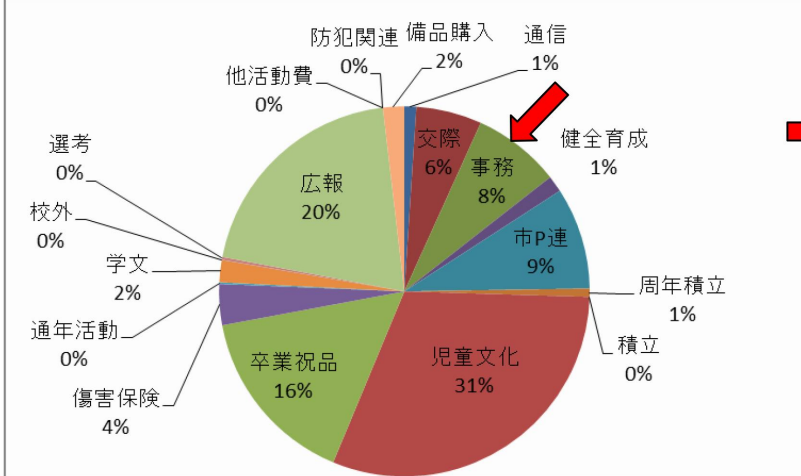
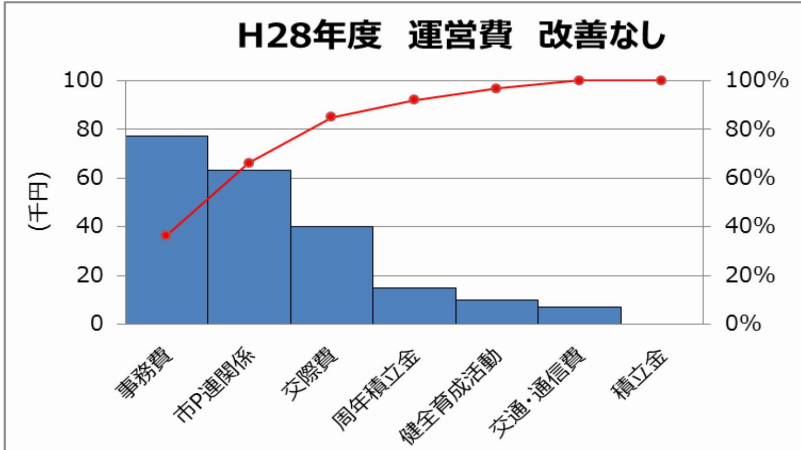
■改革 5

テーマ	情報発信方法の見直し	
目的	インターネット情報社会が進む中、本会は先行して 20●年に HP を開設、インターネットの活用を進めてきた。開設後●年が経過しHP 設計システムは進化していること、今後もインターネットの活用は進んでいくことを踏まえ、HP をリニューアルし、通常の活動報告に加え、新会員や役員への情報発信を充実させる。	
実行案	STEP 1 開発チーム立ち上げ 10 月初 STEP 2 システム設計する 1 月末 STEP 3 実行 2 月初 SE、ネットボランティアを募集し、特別委員会を立ち上げる ・7 月運営委員会で活動を承認、9 月末まで委員を募集する ・10 月同委員会で特別委員会を承認する 1 月末までに特別委員会でシステム設計を行う ・これまでの情報発信に加え次を検討する ①役員引き継ぎデータの保管 ②YouTube やメールアドレスの設置 ③学校メールのようなメール発信 ④ネットボランティアや学校への依頼を減らす方法 ⑤マニュアル作り 2 月運営委員会で HP、システム、マニュアルの内容を承認し、特別委員会を解散する	
期待効果	魅力ある活動	有益で活発な情報発信によって、本会の魅力を感じてもらう
	参加しやすい環境	本会の情報を得やすくなり、理解度が向上し参加者が増加する
補足		

■改革 6

テーマ	40 周年予算検討																																									
目的	2 年後に控えた 40 周年行事を企画するにあたり、今年度は長期的収支バランスを考慮した周年行事の予算検討を実施し、来年度の検討に掛かる負荷を低減する																																									
実行案	STEP 1 チームを結成する 10 月初 9 月運営委員会で活動を承認し、立ち上げチームのメンバーを募集する (来年度の本部役員を構成員として数人入る) 10 月運営委員会で特別委員会を承認する STEP 2 予算を検討する 2 月末 2 月末までに予算案を作成する ・他校の実績を調査する ・本会の収支バランス見込みを考慮する ・検討の進捗を運営委員会で報告する STEP3 来年度へ引き継ぐ 3 月末 3 月末までに本部役員会へ引き継ぐ																																									
期待効果	健全な財政	5 0 周年も健全な財政を保つ																																								
	負担の低減	来年度の活動に掛かる負荷を低減する																																								
補足	先の 30 周年行事では 629 千円を支出した。現在の周年積立金額は 525 千円で、ほとんどは H21 年度（大規模校時代）までに蓄えられ、現在は積み立てることができない収支バランスである。 資産項目別の推移 <table><caption>資産項目別の推移 (千円)</caption><tr><th>年度</th><th>周年積立金</th><th>積立金</th><th>予備費</th></tr><tr><td>H20</td><td>0</td><td>500</td><td>708</td></tr><tr><td>H21</td><td>100</td><td>600</td><td>900</td></tr><tr><td>H22</td><td>100</td><td>600</td><td>1000</td></tr><tr><td>H23</td><td>100</td><td>600</td><td>900</td></tr><tr><td>H24</td><td>525</td><td>500</td><td>900</td></tr><tr><td>H25</td><td>500</td><td>1000</td><td>1000</td></tr><tr><td>H26</td><td>500</td><td>1000</td><td>1000</td></tr><tr><td>H27</td><td>500</td><td>1000</td><td>1000</td></tr><tr><td>H28 予</td><td>500</td><td>1000</td><td>1000</td></tr></table>		年度	周年積立金	積立金	予備費	H20	0	500	708	H21	100	600	900	H22	100	600	1000	H23	100	600	900	H24	525	500	900	H25	500	1000	1000	H26	500	1000	1000	H27	500	1000	1000	H28 予	500	1000	1000
年度	周年積立金	積立金	予備費																																							
H20	0	500	708																																							
H21	100	600	900																																							
H22	100	600	1000																																							
H23	100	600	900																																							
H24	525	500	900																																							
H25	500	1000	1000																																							
H26	500	1000	1000																																							
H27	500	1000	1000																																							
H28 予	500	1000	1000																																							

■改革 7

テーマ	事務費の削減																																							
目的	支出割合が大きい事務費の内訳を調査し、削減策を立案、実行する																																							
実行案	STEP 1 事務費を調査する 9 月末 会計が変動費と固定費に分け、過去からの傾向を調査する 9 月末までに本部役員会が対策案を検討する STEP 2 対策を検討する 12 月初 10 月運営委員会で報告し、委員に対策の検討を依頼する ・単なる節約による削減にせず、合理化、消耗頻度改善、会員からの寄付なども検討する 12 月運営委員会で対策を承認する STEP3 実行 12 月～ 会員へ公開し、実行する																																							
期待効果	健全な財政	必要によっては会費の値上げ、可能であれば値下げも視野に入れる																																						
補足	■全支出に占める広報費の割合  ■支出費用全体 <table><tr><th>H27年度</th><th>費用(千円)</th></tr><tr><td>通信</td><td>7</td></tr><tr><td>交際</td><td>40</td></tr><tr><td>事務</td><td>53</td></tr><tr><td>健全育成</td><td>10</td></tr><tr><td>市P連</td><td>62</td></tr><tr><td>周年積立</td><td>5</td></tr><tr><td>積立</td><td>0</td></tr><tr><td>児童文化</td><td>215</td></tr><tr><td>卒業祝品</td><td>110</td></tr><tr><td>傷害保険</td><td>25</td></tr><tr><td>通年活動</td><td>1</td></tr><tr><td>学文</td><td>14</td></tr><tr><td>校外</td><td>0</td></tr><tr><td>選考</td><td>2</td></tr><tr><td>広報</td><td>141</td></tr><tr><td>他活動費</td><td>0</td></tr><tr><td>防犯関連</td><td>0</td></tr><tr><td>備品購入</td><td>13</td></tr></table> ■運営費の項目の割合 H28年度 運営費 改善なし  水色：運営費 緑色：活動費		H27年度	費用(千円)	通信	7	交際	40	事務	53	健全育成	10	市P連	62	周年積立	5	積立	0	児童文化	215	卒業祝品	110	傷害保険	25	通年活動	1	学文	14	校外	0	選考	2	広報	141	他活動費	0	防犯関連	0	備品購入	13
H27年度	費用(千円)																																							
通信	7																																							
交際	40																																							
事務	53																																							
健全育成	10																																							
市P連	62																																							
周年積立	5																																							
積立	0																																							
児童文化	215																																							
卒業祝品	110																																							
傷害保険	25																																							
通年活動	1																																							
学文	14																																							
校外	0																																							
選考	2																																							
広報	141																																							
他活動費	0																																							
防犯関連	0																																							
備品購入	13																																							

■改革 8

テーマ	児童文化振興活動の拡大																					
目的	子どもたちへの直接的な活動を見直し、より費用対効果のある活動へ進化させる																					
実行案	STEP 1 調査・検討する 12 月末 11 月末までに本部役員会が他校の状況を調査し、効果ある活動方法を検討する ■ 調査・検討内容 ・ 規模の調査 芸術鑑賞会の費用、回数（削減とは限らず） ・ 費用削減 合同開催（美浜南小 etc.）、回数の見直し（隔年で映画 etc.） 12 月運営委員会へ報告し、学級文化部での詳細検討の開始を承認する STEP 2 企画を立案する 3 月初 2 月末までに学級文化部は、手順書を作成し、3 月運営委員会で報告し、承認を得る STEP3 翌年の準備を行う 4 月初 学級文化部で翌年の具体的な活動内容の計画を立案し、引き継ぎの準備を実施する																					
期待効果	魅力ある活動	児童への直接活動の進化は PTA の活動の成果が会員に分かりやすく、これまで以上に求められる活動となり、PTA への理解が深まる																				
	柔軟な運営	他校 PTA 合同開催は PTA 交流に繋がり、他活動への相乗効果が期待できる																				
	健全な財政	費用対効果を再検討し実行することで費用の削減も考えらる																				
補足	■ 芸術鑑賞会費用の推移 児童文化振興費（千円） <table><thead><tr><th>年度</th><th>費用（千円）</th></tr></thead><tbody><tr><td>H20</td><td>450</td></tr><tr><td>H21</td><td>450</td></tr><tr><td>H22</td><td>80</td></tr><tr><td>H23</td><td>150</td></tr><tr><td>H24</td><td>200</td></tr><tr><td>H25</td><td>200</td></tr><tr><td>H26</td><td>250</td></tr><tr><td>H27</td><td>220</td></tr><tr><td>H28 予</td><td>220</td></tr></tbody></table>		年度	費用（千円）	H20	450	H21	450	H22	80	H23	150	H24	200	H25	200	H26	250	H27	220	H28 予	220
年度	費用（千円）																					
H20	450																					
H21	450																					
H22	80																					
H23	150																					
H24	200																					
H25	200																					
H26	250																					
H27	220																					
H28 予	220																					

■改革 9

テーマ	専門部会、本部役員会、地域協力委員の活動に対する理解を進める	
目的	会員の理解を深めるため活動の内容を紹介し、役員選考の際、立候補者の増加に繋げる	
実行案	STEP 1 紹介方法の検討 9 月末 8 月末までに本部役員会が素案を作成し、9 月運営委員会で活動の承認を得る ・媒体（「だより」、広報紙など）、スケジュール、担当を決定する STEP 2 紹介記事の作成 ↓ スケジュールに従い担当が作成する STEP 3 実行 会員へ公開する	
期待効果	魅力ある活動	専門部会の活動への理解度が向上する
	負担の軽減	上記によって、役員立候補者が増加する
補足	学級文化部、選考部、郊外部、広報部	

■改革 10

テーマ	本部役員構成の見直し	
目的	副会長の仕事から庶務的な部分を分離し庶務役員を新設、担当に必要なレベルをわかりやすくすることで、作業の効率化と立候補者の増加を図る。また広報担当書記の増員を行い、広報活動を充実させる	
実行案	STEP 1 構成を検討する 12 月初 11 月末までに会長が素案を作成し、12 月本部役員会で内容を確認する STEP 2 総会議案の準備 3 月末 1 月末までに本部役員会が具体的な内容とし、2 月運営委員会へ報告し、承認を得た後、総会議案として準備を開始する STEP 3 総会審議 定期総会で承認を得る 4 月末	
期待効果	柔軟な運営	責任や作業を分割することで、本部役員立候補者が増加する
補足		

以上